
「くも膜下出血患者における外科的治療に伴う離床時期についての現状調査」に

関するお知らせ

このたび、当院にくも膜下出血で手術を受けた患者さんの離床に関する研究を実施いたします。本研究は、総合医療センター研究倫理委員会委員長の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年1月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、くも膜下出血と診断され、手術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

脳卒中治療において、脳卒中急性期の治療と並行し、廃用症候群を予防し、生活の再構築を踏まえ、早期の日常生活動作向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとで発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが強く勧められています。くも膜下出血発症から14日までは脳血管攣縮を念頭においた術後管理が必要です。頭蓋内圧のコントロールや血圧の管理を優先するために安静臥床による管理を余儀なくされていることも多い一方、安静臥床は廃用性の筋萎縮や心肺合併症を発生させ、ADL能力を低下させてしまう可能性があります。そのため、当院におけるくも膜下出血患者を対象に開頭手術、血管内治療の2群に分類し治療後の離床時期についての現状調査を後ろ向きに調査し、今後の課題を明確にします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である熊倉美知子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

くも膜下出血と診断された患者さんの治療を実施した際の診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 熊倉 美知子（研究代表者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター GICU 保健師 櫻井 理絵
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 佐藤 和幸
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 工藤 公郎
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 三上 英之
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 溝口 実里
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 山口 妃沙弥
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 齊藤 徹

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 熊倉美知子

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3526（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：くも膜下出血患者における外科的治療に伴う離床時期についての現状調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター GICU 看護師 熊倉 美知子